

平成30年度 香南市産業振興計画

- 1 香南市産業振興の目標 1 ～ 3ページ
- 2 農業分野 4ページ
- 3 林業分野 5ページ
- 4 水産業分野 6ページ
- 5 商工業分野 7ページ
- 6 観光分野 8ページ
- 7 住宅分野 9ページ
- 8 分野を超えた連携テーマ 10ページ

香南市産業振興計画の位置づけ

第2次香南市振興計画

◆基本構想（平成29～38年度）

香南市の展望と将来像を示す中長期的な計画

◆前期基本計画（平成29～平成33年度）

◆後期基本計画（平成34～平成38年度）

「基本構想」に定められた施策を体系的に示すとともに、その内容を明らかにした市政の基本的な計画

※後期基本計画は未策定

計画の体系（産業振興計画に関わる基本施策）

1. 協同のまちづくり
2. 産業振興
 - 農業の振興
 - 林業の振興
 - 水産業の振興
 - 商工業の振興
 - 観光の振興
 - 住宅関連産業の振興及び定住環境の充実
 - 分野を超えた連携
3. 人生支援
4. 都市基盤
5. 教育文化
6. 防災

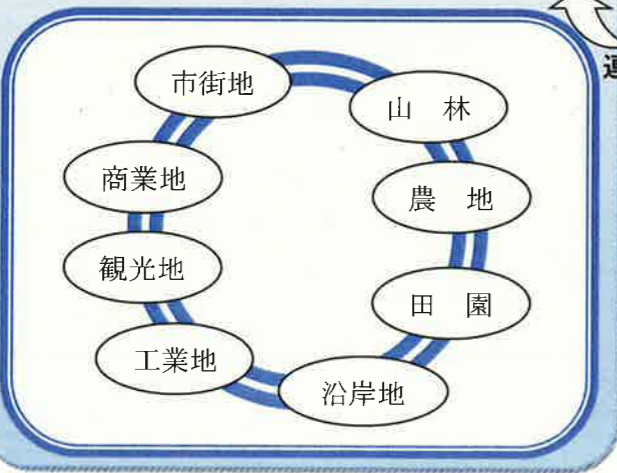
高知県都市計画区域マスタープラン
都市計画法や農業振興地域の整備に関する法律等

第3期
高知県産業振興計画
(平成28年度～平成31年度)

香南市グランドデザイン

(平成25～平成27年度(策定))

香南市振興計画の実現に向けて、土地利用の適正配置(ゾーニング)や各土地利用のネットワーク構築などについて明らかにした、『ハード』分野の施策を受け持つ長期的な計画



香南市産業振興計画

(平成26年3月策定～以降毎年度バージョンアップ)

香南市振興計画の実現に向けて、「香南市グランドデザイン」と連携し、土地利用やネットワーク構築を担保する産業振興施策を示す、『ソフト』分野を受け持つ中期的な計画



市の産業に関わる現状と課題

第2次香南市振興計画前期基本計画(平成29～平成33年度)

農業	○長引く不況による消費者の低価格・節約志向による販売価格の低迷 ○生産農家の減少と高齢化、後継者不足による労働力の確保 ○有害鳥獣による農作物への被害の増加
林業	○輸入材木の増加や木材需要の減少等による長期の価格低迷 ○採算性が見込めないことによる林業従事者の生産意欲の減衰
水産業	○輸入増加や食生活の変化などによる魚価の低迷 ○燃料費の高騰、漁獲量の減少による漁業経営の不安定化 ○漁業従事者の高齢化による担い手不足とあわせて、漁港施設・水産機能施設の老朽化
商工業	○大型店舗への消費者の流出や経営者の高齢化による商店街の空き店舗の増加 ○商業の沈滞、商店の経営悪化、まちの活気や治安面への影響懸念 ○地域経済の活性化、雇用創出の観点からみた企業誘致の推進が必要
観光	○地元商店街や地域の住民力を活かして行われる個性的なイベントを通して、訪れた人たちが地域との交流を楽しめる機会をつくる必要がある ○地域の情報発信力の強化への取り組みが必要
住宅	○農地、緑地の宅地化による従来の住環境や農地環境の変化 ○自然環境や周辺環境に配慮した良好な都市基盤が形成された、快適で暮らしやすい住環境の整備が求められている

香南市まちづくりグランドデザイン(平成27年度策定)

産業基盤	農業	○栽培生産面積を半分以上担うコメの価格低下による農業経営の悪化と耕作放棄地の増加 ○施設園芸の収穫・出荷・荷造り作業の労力不足によって栽培面積の拡大が困難 ○農家の高齢化、担い手不足による農業全体の衰退 ○農産物の地産地消及び加工・販売によるブランドの強化に向けた更なる取組み
	林業	○中山間地集落の高齢化による農地及び山林の荒廃、林業の衰退 ○林業衰退による間伐区域の縮小と水源涵養機能の低下
	水産業	○生産施設の老朽化による生産能力の低下 ○漁港や水産物を生かした観光産業及び加工・販売によるブランドの強化に向けた更なる取組み
	商業	○地域に密着した既存商業地の衰退 ○南国安芸道路開通に伴う、国道55号交通量減少による既存商業地への影響
	工業	○新たな工場等の立地には、用水の確保が必要 ○内陸部の工業集積地へのアクセスが弱い ○空港やIC周辺の交通利便の高い土地での工業用地の不足 ○農産物や水産物を利用した加工産業への更なる取組み
生活基盤		○雇用の場の不足による労働人口の市外への転出、雇用の流出

香南市の産業特性

概況

- 人口、世帯数とも横ばい。
- 常住就業・通学者のうち、約半数以上が市外への流出している一方、市内就業・通学者のうち市外からの流入は、約3割にとどまっている。
- 出生率は、県内第3位。

産業構造

- 就業者数及び就業率は減少傾向。
- 第1次産業、第2次産業、第3次産業の就業者構成比は、第1次産業、第2次産業が減少している一方、第3次産業で増加。
- 15歳以上の就業者割合は、第1次産業では農業、林業が97%、第2次産業では製造業が64%、第3次産業では卸売業・小売業が25%、次いで医療・福祉が21%と高い。

主要指標の推移

- 商業：従業者数は、卸売・飲食店・宿泊業で増加。
- 農林漁業：農家戸数は減少傾向である一方、農業生産額は平成17年から22年で増加。林家戸数近年減少、漁業従業者数横ばい。
- 工業：製造業従業者数減少傾向。
- 観光：道の駅利用者減少傾向。

香南市産業振興の目標

第3期高知県産業振興計画 (平成28年3月改定)

産業振興計画の推進によって目指す将来像 (成功イメージ)

地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

【目標設定】

計画全体を貫く目標①

若者の県外流出を防止する、
県外からの流入を促進する

■4年後に人口の社会増減(転入数
と転出数の差による増減)をゼロ
にする

※平成21~27年(平成22年を除く平
均)の社会増減▲1,966人

計画全体を貫く目標②

若者が志を持って打ち込める
魅力ある仕事をつくる

■4年間で4,000人の雇用(定量的
に把握できるもの)を創出する
※第1期・第2期計画期間における雇
用創出5,491人(定量的に把握でき
るもの)

計画全体を貫く目標③

県際間の収支を改善する

■産業振興計画の取り組みによる
4年後の移輸出額の増加効果を
プラス700億円にする

※平成22年
移輸出額 6,690億円
県際収支 ▲6,628億円

第3期産業振興計画の構成

276
施策

総論

◆本県の強みや弱みを整理(SWOT分析)
◆強みを生かす観点から改革の基本方向を明記

234
事業

産業成長戦略

(具体的な内容はp.25~p.58へ)

◆5つの産業分野及びこれらをつなぐ連携テーマで構成
◆これからの対策をいつ、どのような形で実施するのか
明確化



分野を
超えた
連携

- ① 地産地消・地産外商の推進
- ② 移住促進
- ③ 担い手の育成・確保
- ④ 地域産業クラスターの形成
- ⑤ 起業・新事業展開の促進 など

地域アクションプラン

(具体的な内容はp.59~p.68へ)

◆7つの地域ごとに、それぞれの地域で進める具
体的な取り組み
◆プランは、「地域からの発案で提案されるもの」と
「産業成長戦略を地域で具体化する取り組みとし
て提案されるもの」の2種類



(香南市の具体的な取組) . . . 地域アクションプラン/物部川地域

- ニラの産地強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」
- エメラルドメロンの販売力向上対策 ○加工品販売による夜須地域の活性化
- 民有林における原木の増産 ○シイラ等の加工商材活用
- 地場産品を活用したヤ・シパークを核とする地域の活性化
- 香南市の地場産品販売促進 ○香南市の商業振興への取組
- 広域観光の取組の推進 ○三宝山プロジェクト
- 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信

市計画の基本事項

目標年次

高知県産業振興計画の「目指す将来像」や「目標値の達成状況」との関係性を常ににらみながら計
画を推進するため、高知県産業振興計画の目標年次との整合を図る。

香南市が高知県のトップランナー

高知県産業振興計画の目標達成に期待される高知県のトップランナーとしての位置づけを意識し、
各種取組を位置付ける。

基本的方向

足腰を強め、地力を高める

- ◆第一次産業を伸ばす。
- ◆地域アクションプランの
推進。
- ◆中山間対策を強化する。

産業間の連携を強化する

- ◆ものづくりを強化し、
付加価値を高める。
- ◆県外からの観光客の誘客を
図る。

新たな産業づくりに
挑戦する

- ◆新たな産業集積を目指
す。

香南市の地域特性を活かせる将来像

高知県の産業振興計画の実現を担う計画として、
香南市の地域特性を活かせる将来像を設定する。
課題から導かれる基本的方向性：就業の場の確
保、地場産業の発展、企業誘致、地域商業の発展

香南市の色を出す

『香南市グランドデザイン』と連携し、香南市の
地域色を出すことのできる横断的施策を位置付
ける。《連携テーマの設定》

香南市産業振興計画 (平成26年3月策定)

産業振興計画の推進によって目指す将来像 (8年後の成功イメージ)

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

1 ○○
2 ○○
3 ○○

【目標設定】

計画全体を貫く目標①

■バランスのとれた産業構造として、
就業人口、従業人口が整い、住と職
がバランスよく、住みながら働く場、
雇用の確保ができる。

計画全体を貫く目標②

■1次産品の安定生産の体制づくり、生産
量を増やし、市の総生産額をあげる。
地場産品が安定する、市内で経済活
動が活性化される。

産業振興計画の推進によって目指す将来像(8年後の成功イメージ)

地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市

この成功イメージには、「香南市の更なる活性化」を進めるため、第一次産業をはじめとした『地産』を強化し、『自立』できる持続可能な産業構造を創造するとともに、『外貨』獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、「産業の拡大を図りたい」。このことにより「次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市にしていきたい」という思いが込められています。

計画全体を貫く目標①

■バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場、雇用の確保ができる。

【今後5年の見通し】

- 各産業分野の取り組みにより、生産額が増加する。
- ものづくりの地産地消など、地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

計画全体を貫く目標②

■1次製品の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額をあげる。地場生産品が安定する、市内で経済活動が活性化する。

【今後5年の見通し】

- 高齢世代の大量退職により、若者の働く場の発生
- 但し、人口自然減により経済が縮み、働く場の規模が縮小
- 新たに仕事に就く若者層は、全国的に少子化により減少傾向

◆産業振興計画による魅力ある雇用の場を創出していくことで、働く場が労働力の供給よりも大きくなり、香南市で育った若者が市内で働くことができる状況へ。さらに、市外からの受け入れも可能⇒人口社会増へ

地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造を構築する

学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する

産業成長戦略

※行政主導で進める振興計画



地域活性化策

※市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

	農業分野	林業分野	水産業分野	商工業分野	観光分野	住宅分野
目指す姿 (H33)	・地域で暮らし稼げる農業	・森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出	・資源回復と経営力の強化により稼げる水産業	・ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出	・地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業	・香南市に安心して住み続けてもらう定住環境の充実
○代表する数値目標 (H31)	○新規就農者数 15人/年	○森林境界明確化面積 600ha以上	○沿岸漁業総生産量 1,200トンを以上維持	○製造品出荷額等 500億円以上	○観光施設入込客数 120万人以上	—
分野を超えた連携	① 6次産業化による地産地消・外商の推進 ② 観光クラスターの整備 ③ 産業人材の育成・確保					
取り組み 戦略事業	次ページ以降 参照					

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「さらなる飛躍へのポイント」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 → H29 → H30 → H31

基盤整備・防災

- 農業生産基盤の充実
 - ・県防災減災事業 基幹水利施設補修事業費負担金
 - ・防災施設対策整備【黒谷ため池（改修工事） 1件】
 - ・排水機場施設整備【吉原排水機場（ポンプ及び電気工事）1件】
 - ・地域農業水利施設ストックマネジメント事業（頭首工）【総合堰・統合堰（改修工事）計2件】
 - ・物部川統合堰整備事業【南国、香美、香南へ分水している堰、用水路の老朽化により機能診断保全計画を作成】
 - 新 農地耕作条件改善事業（頭首工）【門田堰（測量設計・改修工事） 1件】
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業【小林堰補修工事 1件】
 - ・工業用水道整備事業（水路・道路等整備）【西中筋7水路(第2工区)・ナ丸1号線道路(第2工区) 中組南18水路(第1工区) 計3件】
 - ・農業集落排水整備（上岡地区集落環境整備事業）【8水路・16水路 計2件】
- 防災への対策
 - ・農村地域防災減災事業（避難タワーの県事業負担金）【吉川地区避難タワー工事1件】
 - ・重油流出防止付装置燃料タンク整備事業（重油タンクの流出防止対策）【18件】

経営改善・担い手

- 担い手対策の促進
 - ・担い手対策関係
 - ・担い手育成センター研修支援事業（施設野菜等の栽培や農業用機械の操作等の研修に対する助成）【10人】
 - 新 農業大学校就学助成事業（学費の助成を行う）【3人】
 - ・研修・親元就農支援事業（実践的研修を行う研修生や受入農家に対する負担軽減）【9人】
 - ・農業次世代人材投資事業（青年就農者の確保及び育成を図る）【8人】
 - 新 農業後継者推進事業（農業後継者の確保及び育成を図る）【16人】
 - ・実践型研修ハウス整備事業（新規就農者の確保及び育成を図る）【3棟】
- 経営の向上への対応
 - ・園芸用ハウス関係
 - ・園芸用ハウス整備事業（新規就農・規模拡大する農業者に対し建設に対し助成）【25件】
 - ・園芸用ハウス復旧支援事業（自然災害で被災したハウスの復旧整備に対して助成）
 - ・経営所得安定対策推進事業（農作物の生産振興や米の需給調整の推進）
 - ・農地中間管理事業（担い手への農用地の利用集積を促進）【5件】
 - ・環境制御技術導入促進事業（炭酸ガス発生装置等の導入に助成）【19件】
 - ・産地パワーアップ事業（産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援）
- 農産物のブランド化の推進と加工品の開発
 - ・農山漁村振興交付金事業（6次産業化の取組による拠点ビジネスづくり）
- 消費者の安全安心志向への対応
 - ・地産地消推進協議会補助事業（地域で消費する地産地消活動を円滑に推進する）【38%市内野菜の使用率】
 - ・信頼される産地づくり支援事業（出荷前農産物残留農薬検査に対する助成）【147検体】

中山間

- 農地の保全と活用の促進
 - ・中山間地域等直接支払事業（中山間地域の農業生産条件が不利な地域における事業）【11組織】
 - ・多面的機能支払事業（農地や農業用水等の資源の保全と質的向上を図る事業）【12組織】
- 有害鳥獣被害対策（有害鳥獣被害に対する対策事業）
 - ・鳥獣被害対策実施隊【捕獲数イノシシ220頭、シカ150頭】
 - ・有害鳥獣被害防止事業【延長10,000m】

- ★事業化を目指す
 - ・経営体育成基盤整備事業（区画整理事業）
 - ・中山間地域総合整備事業（区画整理事業）
 - ・排水機場耐震機能診断（耐震機能診断及び補強工事）
- ★加工・流通・販売などの体制を強化する
 - ・高収量、高品質への取組強化
 - ・生産と一体となった加工ができる体制づくり
 - ・販売戦略等に対する関係機関との連携強化

将来

4年後の目標 (H31年度末)

基盤整備の強化により本市農産物の品質を高め、生産量を増やす

新たな担い手の確保と地域の中核となる農業者等の規模拡大を進める

- 新規就農者数【49人】 ※H28~31累計
- 園芸ハウス整備面積【60,000㎡】 ※H28~31累計
- 環境制御技術導入農家数【90戸】 ※H28~31累計

地域農業を担う経営体の育成

生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す

農業者の収入につながる地域資源の加工を進める

- 学校給食への市内産野菜（主要品目）の使用率【39%/年】

中山間地域の資源を活かした商品開発、販路拡大を支援

- 集落営農の育成
- 有害鳥獣捕獲数【2,000頭】 ※H28~31累計

さらなる飛躍へのポイント

生産性、技術の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成

一経営体あたりの収入をアップ

担い手へ農地を集積

施設の高度化・大規模化

経営力のある企業的经营体を育てる

地域特産物の販売強化

農産物加工販売拠点の創出

農業生産品の加工・流通・販売を担う農業法人の育成

中山間で収入を得る仕組みを定着

6年後の目指す姿 (H33年度末)

農で働き香南市で暮らす

- 認定農業者 5人/年
- 新規就農者数 16人/年

まちづくりや他産業と連携した稼ぐ農業

若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立

地域で暮らし稼げる農業

新規就農者数 7人 (H29)

香南市の6年後の目指す姿を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

基盤整備

森林資源保全

木質バイオマス

H28 H29 H30 H31

- ◆林業の振興
- 林業生産基盤の充実
- 林道道路側溝整備事業
 - 新 ①畑山・仲木屋線擁壁復旧工事【L=10.0m A=35.2㎡】（6月末終了予定）
 - ②城山・羽尾線側溝清掃事業【A=3,000㎡】※ 安全性の高いモノから先に
 - 新 ③城山・羽尾線舗装工事【A=400㎡】※ 実施するため実施予定は検討中
 - 新 ④水源の森保育間伐事業 物部地区香南市有林（10月頃から取り組む予定）

- ◆林業の振興
- 森林の多面的な利活用の促進
- 緊急間伐総合支援事業（森林造成及び森林整備の充実を図ることにより森林の持つ水源涵養機能、国土保全機能を高めると共に水資源の確保に資する）
 - 【切捨間伐（10ha）… 香我美町奥西川・撫川、夜須町羽尾・沢谷・仲木屋】
 - 【保育・搬出間伐（58ha）… 夜須町仲木屋】
 - 【作業道整備（1,700m）… 香我美町撫川・舞川・西川 夜須町仲木屋】
 - 森林整備地域活動支援事業（小規模に分散している森林を取りまとめて、一体的に施業を行う集約化を推進し、効率的な森林整備の充実を図る）
 - 【森林所有者境界明確化（76ha）… 夜須町沢谷】
 - 【条件整備（作業道の改良 38ha）… 夜須町沢谷】
 - 森林・山村多面的機能発揮対策事業（里山の保全・森林資源の利活用等の取組に支援）
 - 林地台帳整備事業（森林情報の確認・提供及び地図の公表）
 - 森林整備推進事業（高性能林業機械導入）
 - 【8tベース・グラブ付トラック】1台
 - 【プロセッサ】1台

- ◆林業の振興
- 森林の活用
- 木質バイオマス利用促進事業（木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化）
 - 木質バイオマスエネルギー利用促進協議会事業（推進体制の強化、参加者の拡大等）
 - CLT建築推進協議会事業（CLTの普及促進）

- ◆林業の振興をめざす
- 林業の生産性向上
 - 作業道路の充実
 - 林業の機械化
 - 人材育成
 - 森林の保全活用
 - 水源涵養機能、国土保全機能を高める
 - 間伐端材の有効活用

将来

4年後の目標 (H31年度末)

さらなる飛躍へのポイント

6年後の目指す姿 (H33年度末)

- 森林の持つ公益的機能の維持増進
- 搬出・切捨間伐…250ha
 - 作業道整備… 13,500m ※H28～31累計

- 森林の集約化と経営委任の推進
- 森林経営計画の整備 現況1計画400ha 目標2計画600ha

- 公共事業や公共施設での県産材の利用促進
- 木質バイオマスエネルギーの利用促進と多面的利用の拡大
- 農業ハウス用ペレットボイラー数 現状維持 (H27.2基)

- CLT建築の普及促進と林業の振興

森林境界明確化面積 600ha以上(累計)を目指す

作業システムの改善による原木生産の効率化

鳥獣害対策の加速

森林の集約化を一層推進

森林資源活用加工販売拠点の創出

木材を含む山林資源の加工・流通・販売を担う営林法人育成

県産材を利用した木造住宅への支援 地産地消の推進

原木の販売価格安定

森林経営計画の樹立 6計画 800ha

持続可能な森林づくり

荒廃森林の解消

県産材使用住宅の普及

公共事業、公共施設での木材利用のさらなる推進

森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出

森林境界明確化面積 285ha (H26〜累計)

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 H29 H30 H31

改修整備

◆水産業の振興

- 水産機能施設の整備 (老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備等)
 - ・県漁協赤岡支所 荷捌所ホイストクレーン設置工事
 - ・県漁協手結支所 製氷機他更新事業 (リマ区域周辺漁業用施設設置事業費補助金)
- 漁港施設の整備
 - ・水産物供給基盤機能保全事業 (ストックマネジメント事業)
 - (適正な施設の維持管理及び計画的な保全工事の実施→施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減)
 - 吉川漁港-1.5m物揚場 (北) 保全工事 ・船揚場 (4) 保全工事
 - ・吉川漁港外灯取替工事
 - ・吉川漁港浚渫工事
 - ・吉川漁港海岸堤防耐震調査事業
 - ・県営事業
 - 赤岡漁港3号導流堤保全工事・浮棧橋設置工事
 - 河川海岸高潮対策事業 (岸本海岸 離岸堤設置・養浜)
 - 海岸陸開常時閉鎖推進事業

経営基盤強化

◆水産業の振興

- 新規漁業就労者支援事業 (1名の確保)
- 漁場の保全 (水産資源生息の場の修復や漁場清掃など、漁場生産力の回復を図る)
 - ・藻場再生事業、掃海事業
- 漁業者の所得向上
 - ・シラス漁における所得向上の為の協議継続 (加工技術の向上、販路の拡大、沖止めの解消、鮮度保持の徹底等)
 - ・沿岸漁業設備投資支援事業 [エンジンリース等]
- 観光漁業の推進
 - ・遊漁船業等振興事業 [遊漁船設備リース等]

生産・加工・流通・販売

◆水産業の振興

- 水産加工品流通販売の推進
 - ・地産地消推進事業 (市民への地産地消の普及啓発と学校給食と連携した食育活動の実施) (学校給食への地元水産物納入に向けた協議)
 - ・地場水産加工品等推進事業 (水産加工品の付加価値を向上するための取組みを総合的に支援する : シイラ加工商材活用、シラス加工品による新たな事業化の検討)
- ・県漁協手結支所 保冷車購入事業 (香南市産業振興推進総合支援事業費補助金)
- ・体験学習 (魚についての学習、魚の三枚おろし学習、料理教室)

★事業化を目指す

- ・養殖漁業、内水面漁業の推進

★加工・流通・販売などの体制を強化する

- ・水産加工業の新たな事業化の推進 ・漁業者による6次産業の事業化
- ・地域加工グループによる雇用の場の確保 ・水産物の加工、商品化事業の強化促進
- ・水産加工品の販路拡大の促進

★水産業についての学習の場づくり

- ・地域の水産業に親しむ環境づくり (教室や講習会の開催、体験学習、どろめ釜揚げ体験、市場体験 など)

将来

4年後の目標 (H31年度末)

漁業の生産高を伸ばし、漁業収入を向上

- 漁港施設の保全、改修整備率 43%
- 水産機能施設件数 12件
- 除去地区の海藻類育成被度 70%
- 地曳網漁業経営体の維持 1経営体
- 新規就業者 (中核漁業者) を4名 (1名/年) 確保

地産地消の推進

- 食育活動の展開
- 水産物ブランドの確立
- 手結加工場による給食センターへの食材納入回数 11回

地域の雇用の場を確保

- 手結加工場の雇用人数 4人※H28~31累計
- 手結加工場の販売金額 3,000万円

さらなる飛躍へのポイント

沿岸から沖合までの多面的活用

地場産魚としてのさらなる認知度向上

民間企業や新規就業者が参入しやすい環境整備

高知県漁協の買取販売の抜本的な強化

買受人のさらなる連携による戦略的な外商活動の展開

水産品並びに観光漁業活動拠点の創出

水産品の加工、流通、販売を担う水産法人の育成

6年後の目指す姿 (H33年度末)

にぎわいのある漁業・漁村

- 新規就業者(中核漁業者)を16名確保

香南市ブランドの展開

加工で広がる漁村の雇用

- 水産加工業の取扱高増加
- 漁村における雇用の安定確保

沿岸漁業総生産量

839トン (H29)

沿岸漁業生産量1200トン以上維持を目指す

資源回復と経営力の強化により稼げる水産業

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「**さらなる飛躍へのポイント**」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

H28 → H29 → H30 → H31

4年後の目標
(H31年度末)

さらなる飛躍
へのポイント

6年後の目指す姿
(H33年度末)

もぎんへの
基盤整備

◆商工業の振興

○企業誘致の促進

- ・香南工業団地整備事業
分譲済4社、残り1区画、早期完売を目指す（契約は目前）
- ・香南工業団地企業立地促進事業
土地購入費の10%を補助
香南工業団地区域内への企業の立地の促進を図るため必要な措置を講ずることにより、雇用の促進及び産業の活性化を図る
- ・ルネサス高知工場及び川谷刈谷工場用地
ルネサス従業員の雇用確保及び事業承継先の確保
川谷刈谷第二工場用地への企業誘致を図る



▲香南工業団地

積極的な設備投資と技術力の強化が相まって、生産性や競争力が向上

- 新規企業立地件数 5件
- 新規雇用者数 160人
※H28～31累計

企業立地の推進
産業発展を支える優良な工業・流通・レジャー等の産業立地誘導拠点の整備

競争力のある企業が育つ産業集積の拡大

もぎんへの

◆商工業の振興

○既存企業の育成・支援

- ・香南市香我美町立地企業交流会
市内の企業間の情報交流の場をつくり、連携した事業展開を行うことができるよう支援する交流及び情報交換を行い、企業同士の横のつながりを強める
- ・香南市ものづくり会
市内の企業間の情報交流の場をつくり、連携した事業展開を行うことができるよう支援する交流及び情報交換を行い、企業同士の横のつながりを強める
- 拡**香南市産業人材育成事業
市内中小企業者または中小企業団体を担う人材育成を支援するため、研修会などに参加する経費の一部を補助
- ・香南市未来人材育成奨学金返還助成事業
大学等卒業後、市内の製造業の事業所に新たに就職した若者を対象に、奨学金の返還額の一部を助成
- ・香南市インターンシップ支援事業
市内の製造業の事業所が実施するインターンシップに係る宿泊費の一部を定額補助

既存事業者の育成・支援を商工会と連携して推進

- 懇談会の開催 1回/年（継続）

企業の設備投資の促進とものづくりをリードする中堅企業の育成

香南ならではの技術やノウハウを活かして、存在感をアピールできるものづくり産業の創出

製造品出荷額等

371

億円（H28）

商業支援

◆商工業の振興

○既存企業の育成・支援

- ・香南市緊急融資保証料補給金交付事業
セーフティネット保証制度、中小企業信用保険法第2条第5項に該当し、信用保証協会が保証を行った保証料に対して0.1%の補給を行う
- ・各種免除、助成事業
企業の投資額等の算定による固定資産税の課税免除、新規誘致企業と連携した助成制度

○魅力のある商業地・商店街づくり

- ・こうち商業振興支援事業
地域コミュニティの創設・商業活性化についての取組事業として行っている生活便利帳への新規店舗の掲載及び「直接消費者、商店と触れ合えるイベント等」の開催へ補助する
- 新**街パルイベントの開催
市街地活性化と、飲食店を中心としたPR・集客支援を目的として街パルイベントを開催し、香南市の魅力をアピールする

○空き店舗等の活用

- ・空き店舗等を活用した拠点づくり事業
空き店舗等を活用した拠点づくり事業の実施・助成事業の構築

○新規企業の育成・支援

- ・各種融資事業
国、県、信用保証協会の有利な融資制度を活用する
- ・商工会との連携事業
市内金融機関との情報交換、商工会各部会との連携強化、商工会による経営発達支援事業への支援
- ・創業支援利子補給金交付事業
信用保証協会が貸し付ける創業に関する資金融資に対して利子補給を行う

地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進

- コミュニティガイドブックへの掲載店舗数 200店
- 空き店舗の新規活用件数 2カ所

地域ぐるみで小規模事業者に対する面的支援（行政の行う各課の各種事業と、ポイント事業の連携推進など）

- ポイント事業の導入
（健康パスポート事業を取り入れていく）

製造品出荷額等

500億円以上を目指す

産・官・学の連携
人材育成
次世代の成長産業の育成

観光型商業拠点の創出
地産地消・外商活動のさらなる強化と賑わいのあるまちづくり

地域活性化と雇用の創出

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「さらなる飛躍へのポイント」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

現況事業

H28 H29 H30 H31

核となる観光拠点の形成

- ◆観光の振興
 - 新たな観光拠点の整備
 - ・三宝山観光拠点化
29年度に策定した基本計画、及び施設計画の検討のための諸条件（動員計画、駐車場計画、運営スキームなど）に基づき、民設民営の手法により施設整備などを行う。
 - 観光拠点の強化
 - ・ヤ・シィパーク周辺地域の活性化
特産品を活用した氷菓や焼き菓子類を製造・販売し、集客の増加を図る。また、催事出店やネット販売など販路の拡大や、旬の地域食材を活用した季節ごとの目玉商品を開発する。また、ポスト幕末維新博を見据え、体験型観光資源の磨き上げを行う。

広域観光の推進

- 歴史を中心とした博覧会（志国高知 幕末維新博）の開催
 - ・歴史資源の磨き上げ（リアル化）と周遊コースづくり（クラスター化）の取組
地域会場であるアクトランド、絵金蔵を中心に作成したPDCAシートを活用し、集客と周遊観光を促進することで、維新博終了後も継続して全国・海外から多くの誘客を図る
- 観光施設間の連携
 - ・観光施設連絡会の開催
引き続き、課題の洗い出しや施設間の情報共有及び連携強化を図る。また、平成29年3月からの志国高知 幕末維新博開催期間中に事業を活用し、観光クラスター形成を図る。
- 地域に親しむ観光の促進
 - ・歌舞伎でまちおこし
出前講座及びワークショップを開催する。また、歌舞伎体験等の観光メニューを開発する
 - ・塩の道を活用した取組
塩の道トレイルランニングレース及び塩の道ウォークを実施する
 - ・サイクリングコースの整備等に向けた取組（ブルーライン等）
県及び関係市町村と連携し、サイクリングコースの環境整備をする
- 物部川エリア広域観光推進事業
 - ・物部川エリア広域観光連携事業（高知県観光活性化ファンド）
物部川流域に関連する地方公共団体、地域公益団体、事業者、金融機関及び教育機関等で組織された物部川DMO協議会において、観光マーケティング戦略の企画・立案を行う「株式会社ものべみらい」と連携し、観光資源の磨き上げや周遊コースづくり、人材育成、さらにはインバウンド向け施策の検討を行い、物部川地域全体への経済効果を期待できる事業を展開する。
- 活性化に向けたあらゆる産業との連携の強化
 - ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業（「香南まるごと旨市」カタログ販売）
市内事業者の商品をカタログやチラシ、ネットで販売。また、カタログの商品をふるさと応援寄附金の返礼品として活用し、販売額増加につなげる
昨年から引き続き、健康パスポート事業のなかで健康ポイントの特典として商品を活用する
 - ・地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業
旅行商品及び体験ツアーを企画・提案し、エージェントへのプロモーション活動を実施する

人材の育成

- おもてなしの向上
 - ・まちの案内人会
勉強会や研修を通じて、観光産業を担う人材を育成する

国際観光の推進

- 外国人観光客の受入体制づくり
 - ・観光誘客ツールの整備
多言語化した観光パンフレットの整備
 - ・大型クルーズ船の誘客促進
コース設定し、観光コンベンション協会等を通じて、ツアーエージェントにプロモーションを行う

観光施設入込客数 107.7万人（H29暦年）

4年後の目標（H31年度末）

核となる観光拠点の整備

- 三宝山観光客数 年間10万人以上

観光資源の発掘及び磨き上げの推進

広域観光の推進

- 主要観光施設 入込数 732,500人

サイクリング事業の拡大

- サイクリングコース数 6コース

観光施設の連携促進

- 観光施設連絡会の開催 4回/年

効果的な広報及びセールス活動の推進

人材の育成

おもてなし意識の向上

香南市情報発信及び外商活動の拡大

国際観光の推進

- 公衆無料Wi-Fi整備箇所 6カ所

さらなる飛躍へのポイント

全国に通用する核となる観光・商業活性化拠点の形成とネットワーク構築

三日以上滞在できる質の高い観光地づくり

高知龍馬空港などからのアクセシビリティの向上

市内交通アクセスの充実

ヘビーリピーターの拡大（年に2回以上）

おもてなし意識の醸成

6年後の目指す姿（H33年度末）

観光立市として、市民にもその意識が定着している

高知家のトップランナーとなる

「歴史」、「食」、「文化」など、本市が持つ優位性が観光地づくりに生かされ、国内外から市内各地に観光客が訪れることで、地域の活性化につながっている

本市が持つ個性に県外客が惹かれ、リピーターとなって繰り返し訪れているとともに、中長期の滞在も進んでいる

観光拠点間を結ぶ交通アクセスの進展に伴い、様々な形の周遊観光が根付いている

地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業

観光施設入込客数 120万人以上を目指す

香南市の「6年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、**新たな発想による取り組み**を行うことが必要

この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「さらなる飛躍へのポイント」として整理。より具体的な戦術を練り上げていく

現状

平成30年度の取り組み

H28

H29

H30

H31

現況事業

住環境の整備

- 住宅リフォーム補助金制度
 - ・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用（消費税抜き）の20%（下限:10万円以上の工事・上限:100万円以上の工事は一律20万円）を補助
 - ・予算額 1,500万円 ・募集期間…5月14日～5月25日 ※H31年2月末に完了する工事
 - ・市内に本社または本店を有する施工業者または市内に住所を有する個人の施工業者による工事。
 - ・市内施工業者がわからない場合、高知県建設労働組合香南支部に協力を依頼。

市営住宅の整備

- 市営住宅の整備
 - ・「香南市市営住宅管理計画（香南市公営住宅等長寿命化計画）」を策定
 - ・改良住宅ストック総合改善事業
 - 環境保全のため単独浄化槽を 合併浄化槽に変更
 - 福祉対応型に向けて手すりの設置
 - ・市営住宅単独事業
 - 住み替え対策

住宅の耐震化

- 南海トラフ地震への備え
 - ・住宅耐震診断事業
 - 木造住宅…診断費用の自己負担3千円、非木造住宅…3万円補助
 - ・住宅耐震改修費補助事業
 - 香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助（設計1棟あたり305千円、改修1棟あたり1,000千円を限度）
 - ・コンクリートブロック塀耐震対策事業
 - 避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助（上限205千円）

空き家対策

- 老朽化した住宅等の除去
 - ・老朽住宅等除却事業
 - 避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。（補助率80%、上限1,645千円）
- 移住者向け住宅の確保と促進
 - ①香南市ウエルカム移住・定住促進事業
 - 香我美町の東川・西川地区と夜須町の北部地区の中山間地域をモデル地域として 空き家を活用した移住施策を実施。モデル地域の空き家所有者から活用可能な空き家を市が10年間借り上げ改修し、定住の意思がある希望者に市から貸し出す。
 - 【お試し滞在住宅「西川」】 利用料：15,000円/月額
利用期間：1ヶ月単位で最長3ヶ月
 - ②香南市空き家改修事業費等補助金
 - 市の空き家バンクに登録し、登録物件が貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対して耐震化を必須とし、断熱改修・トイレの水洗化等、住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用や、空き家の荷物整理処分費を補助
 - ・改修事業費補助（補助率10/10以内、上限1,824千円）
 - ・耐震性のある場合、畳の表替え等の軽微な修繕費用を補助
 - （補助率10/10以内）利用者が県外移住者 上限 200千円 財源：県1/2・市1/2
 - 利用者が県内市外移住者 上限 100千円 財源：市単独事業
 - ・荷物処分等補助（補助率1/2以内） 利用者が県外移住者 上限20万円
 - 利用者が県内市外移住者 上限10万円

4年後の目標
(H31年度末)

住まいの質の向上

市営住宅の住環境整備

- 単独浄化槽を合併浄化槽に変更と手すりの設置
改良住宅 98棟
- 長寿命化に向けて屋根外壁改修工事
改良住宅 10棟

災害に強いまちづくり

- 耐震診断件数 1,303件

「移住・定住促進」の仕組みづくり

- 市外から移住者 20組 ※H28~31累計
- 空き家バンク登録数 25棟 ※H28~31累計

さらなる飛躍へのポイント

支援策の拡充

市営住宅の長寿命化

支援策の拡充

支援策の拡充

6年後の目指す姿
(H33年度末)

地域経済の活性化

市民の生活環境の向上

住宅関連産業の振興及び事業者の所得向上

香南市に安心して住み続けてもらう定住環境の充実

分野を超えた連携テーマ

- 各産業分野による取り組みや各地域での取り組みをより効果的に進めるため、農業、林業、水産業、商工業、観光、住宅といった産業分野を超えた連携テーマを設定し、連携強化を図ります。
- 連携テーマの設定にあたっては、地域資源の価値の再発見・創造による新たな魅力づくり（付加価値化）、地域づくりの効果的な連携による地域経済の活性化、魅力ある産業づくりと雇用の場の創出・移住促進などを念頭に、暮らしと産業が調和したまちづくりを意識します。
- 取組を実現していく手法（事業）として「香南市産業振興推進事業費補助金」等により、市独自の支援を行います。

連携テーマ	取り組み	取り組み（施策・事業）の効果
6次産業化による地産地消・外商の推進（※）	<ul style="list-style-type: none"> 農業複合経営拠点構想（6次産業化の取組による拠点ビジネスづくり） 研修用ハウスの建設 市内の教育機関への農産物（香南市米）の供給 市内生産物等を活かした魅力ある新商品の開発（食品加工等） 直販所マーケティング調査 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業受託体制の充実 新規就農者の確保 新たな加工品開発による販路拡大 農業で稼ぎ、農業を支える仕組みの確立
観光クラスターの整備	<ul style="list-style-type: none"> 食や体験、宿泊などを組み合わせた周遊モデルコースの設定 地域観光事業者の強力なスクラム体制の構築 物部川地域の観光施設の面的整備 	<ul style="list-style-type: none"> 交流人口の拡大及び観光消費額の増加 市及び観光施設等の認知度の向上 市を訪れるファン及びリピーターの拡大
産業人材の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> 公的団体が主催する研修を受講する際に補助する「産業人材育成事業」による人材の育成 奨学金返還を助成する「未来人材育成事業」による人材の確保 「土佐まるごとビジネスアカデミー」のPR、受講者拡大 土佐FBC(フード・ビジネス・クリエイター)人材創出事業との連携 教育研究機関との連携（共同研究等） 	<ul style="list-style-type: none"> 大学生等、市内の企業等を担う人材を確保し、市への定住促進につながる 県内第1位の年少人口比率を有する香南市における、若年層が働きたいと思う魅力ある産業と働く場の確保による人口流出防止

※ 6次産業化：農山漁村の様々な地域資源（生産物、風景、伝統文化等）を活用し、生産者等自らが生産・加工・流通（販売）に一体的に取り組み、所得を増大する、あるいは生産者等が主体となって、2次、3次産業事業者と連携して、地域ビジネスの展開や、新たな産業の創出により儲かる第一次産業を実現する取り組み。
 ※ 地産地消：その土地で生産された農産物をその土地で消費すること。 ※ 地産外商：市の農産物や特産品を生産者や関係団体と一緒に、県内外に積極的に売り込む取り組み。

地域活性化策（案） ※市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

地区集落活動センター	集落活動の維持や再生に向け、廃校や集会所等を拠点として、生活、福祉、産業、防災等の取り組みを集落の連携により一体的に進める。西川地区では夢部会、集う部会、支え合う部会の三部会でそれぞれの年間計画を立て活動。また、他にも中山間地域等に集落活動センター設立に向けた取り組みを行う。
香南市特産品ブランド化事業（6次産業化推進化事業（場の整備、仕組み、人材育成））	地域で生産される農林水産物の加工場整備、スタッフ募集をはじめ、6次産業化に向けた新商品開発等を担う組織の活動を推進する。教育研究機関などと連携し、人材育成を行う。既存施設などの有効活用を行い、地産地商の拠点づくりを行う。
販売戦略企画運営事業	各種情報発信のためのアンテナショップの企画運営等を行う。26年度より高知市への日曜日出店開始。施設を有効活用し、郷土文化の育成、伝承及び文化交流、市民の文化活動利用、観光情報発信拠点化、名産品・新商品販売等の拠点化などに向けた取り組みを行う。
産官学連携名産品販売拡大事業	道の駅やす、ヤ・シィパークを中心に東南海地震対策や高知東部自動車道延伸等を踏まえ、安全な地域環境整備の在り方や地域の活性化を促進する。後の防災対策や観光戦略を考える。高知東部自動車道の延伸により、高知や安芸方面からの市内観光施設等へのアクセスが容易になると予想されるため、新たな特産品開発を行い集客に対応する。食文化の発信拠点として、産官学連携によるアンテナショップ・レストラン等の企画・運営を行う。
歴史・食・体験等による交流人口拡大事業	香南市みなこい港まつり、香南市手結盆踊りなどといった香南市の夏を代表するイベントの開催、香南市の食文化を知ってもらう新規イベントなどの企画、開催、農山漁村の地域資源を活用した体験型ツーリズムの企画、開催などを行うとともに、魅力が伝わる宣伝資材を製作し、香南市への観光客増加、交流人口拡大を目指す。
観光・文化交流拡大事業	高知東部自動車道が延伸する事により、高知や安芸方面から、ヤ・シィパークや道の駅やすなど周辺の観光施設等へのアクセスが容易になることを想定し、観光施設周辺までの誘導に向けて、観光案内板の設置、観光旅行会社（企画）とのタイアップによる複数の観光ルートの構築、休憩拠点（情報、一時駐車場・トイレ）の整備を行う。
新庁舎周辺整備計画検討事業	のいち駅前整備や新庁舎周辺を含む周辺の計画について検討を行う。